

平成21年度 芦屋市教育委員会第13回(定例会)委員会記録

日時	平成21年12月4日(金) 16:05~16:49
場所	北館4階 教育委員会室
出席者	(委員) 委員長 近藤 靖宏 委員長代理者 白川 蓉子 委員 植田 勝博 委員 宇佐見裕子 教育長 藤原 周三 (事務局等) 波多野管理部長, 上月学校教育部長, 橋本社会教育部長, 中務管理課長, 稗田教職員課長, 北尾教職員人事担当課長, 伊田学校教育課長, 津村生涯学習課長, 細見文化振興担当課長, 白川市史編集担当課長, 木高スポーツ・青少年課長, 長岡管理課課長補佐
事務局	教育委員会管理部管理課
会議の公開	公開
傍聴者数	なし

1 議案等

報告第8号 平成22年度芦屋市成人式の実施について

2 議事内容

- 委員長) 日程第1 開会宣言
- 委員長) 日程第2 会議成立の宣言
- 委員長) 日程第3 会議録署名委員の指名(宇佐見委員)
- 委員長) それでは,日程第4の審議に入ります。報告第8号「平成22年芦屋市成人式の実施について」を議題とします。提案説明を求めます。
- スポーツ・青少年課長) 議案資料に基づき概略説明
- 委員長) 成人式を迎える方4名が企画の段階から名乗りを上げていただいて,今までとは違った成人式になるということで,大変評価したいなというふうに思います。ただ,以前と変わらないところもあるわけで。その辺が少し気にはなりますが。成人式も非常に近年,落ちついたと申しますか,そういう傾向へ変わってきております。このたびは自主的に企画の段階から参画し,非常に意欲的に取り組んでいただいて,こういう取り組みが出てきました。我々が今まで言ってきたことが少しではありますが,一つの形になってきたあられではないかと思いました。皆様,質疑はございませんか。
- 植田委員) まず1番目に今回,自分たちでやりたいということで,手を挙げられた方々のご意見というものは,どういったことがありましたか。
- スポーツ・青少年課長) この方々は,前回の成人式も下見で見てもらっており,率直な意見ですが,まず開式の,あいさつがちょっと長すぎるというのが1点。それから,チアリーダーが,華やかさに少し欠けるという点が一つ,あと,最後の先

生方の民舞ですが、新成人とのつながりが余りないんじゃないかという意見もありました。それから、もう1点は、お手元にお配りしていますリーフレットや成人式の案内状ですね。これにしても味気ないもので、画一的で見ていても何も楽しくないということがありました。それから、企画者の中には学生もおりますし、既に働いている方もいらっしゃるということで、ホールのホワイエの一角に、何か作品展みたいなものを並べるコーナーをぜひとも設けたいという意見もありました。

植田委員) 作品展みたいな、自己の活動の紹介の場所みたいなものを設置される予定ということですか。

スポーツ・青少年課長)

はい、そうです。

植田委員)

あいさつが長い云々ですが、少くづい、先人があなた方の将来ってそんなに甘くないよということの一つや二つは聞いとかなきゃいけないと思います。

あともう一つは、プログラムの、級友、恩師との再会の場、これは大いに結構だと思えますが、芦屋の場合には私学に行かれる方が非常に多いですね。中学校単位で行った場合、私学に進学した人たちにとってみたら、私らの居場所がないと感じてしまわないかという点でどう配慮されているのですか。

スポーツ・青少年課長)

企画段階でいろいろ検討しておりまして、最初に同窓会的なものを持ってくるのはいかがなものかということで、式典の後にしたほうがスムーズに進行するのではないかと協議もしました。しかし、それを最初にもってきたいという強い思いがありました。当時の担任の先生の協力も得てということで、大体3クラスか4クラスぐらいだったそうなのですが、ほとんど来てくださるということになっております。しかし、私学へ行かれた方は中学校の先生とのかかわりというのではないのですが、地域という考え方であれば、小学校のときの同級生で集まることも可能かと思えます。

植田委員)

小学校の先生方もある程度、御参加いただけるのですか。

スポーツ・青少年課長)

それは考えておりません。

植田委員)

去年、舞台に立たれた先生方も、我が小学校の教え子たちも今二十歳を迎えてという、思いを持って舞台に立たれたのだらうと思えますし、そういう形でフォローすると、結構めぐり会いの場というのが非常に充実するかもしれません。

例年、新成人の言葉というのが、非常にけなげで一生懸命に立ち向かっているのは新鮮でいいなと思えますね。

スポーツ・青少年課長)

彼らは、次につなげたいという強い意志もございますので、ぜひともご理解いただきたいと思っております。

白川委員)

私も大変結構だと思いますが、同じように、最初に再会の部分をもってくるのはどうなのかなと思えます。

社会教育部長)

転入された方に関しても考慮して欲しいとか、懸念するところもございますが、マイナス面ばかりではなく、自分たちでやってみようという思いがありますので、それは尊重した方がいいのではないかと思います。反省する中で、こういうことはまずかったなと、来年につなげることが出来ればいいのかと思っています。

植田委員)

それだけの思いをもって取り組むということで、一度やってみるのも結

構なことだと思えます。ただ、再会の部分に関係のない方についての配慮もお願いして、うまくやって欲しいと思えます。

委員長) 企画される方が4名おられて、式には約600人の方が来られるとすれば、いろいろと協力していただく人が必要となってくると思いますが、その辺はいかがでしょうか。

スポーツ・青少年課長) 市の職員、市民活動センター等々のスタッフは例年よりも多い人数で対応します。

委員長) 最初の1時間30分ほどの部分が今回の大きな特色ですね。それに対する、動員が必要ではないかと思えますが。

白川委員) 1時に開会宣言するのですか。

スポーツ・青少年課長) 2時30分からの開会ということになります。今、市民センターが改修工事入っておりますし、車で送ってこられ、車を降りた時点で、道路側にあふれないようには配備したいと思えますし、その誘導につきましても今いろいろ案を練っているところでございます。

それから、式典の方へスムーズに入っていただくということも考えておりますし、会場内に入れば新成人が生まれてから今までの、主な、大きな出来事を、映像が目を引くようなことも企画しております。

教育長) いろいろ考えてくれていて、いいことですね。

植田委員) 楽しみですね。

教育長) ただ、かなりの人数が集まるとなると、集団心理というのが働く可能性がありますので、全体の責任者や指揮命令系統をしっかりしないと、何か間違ったときに、これは新成人の代表者に任していますからということで、指揮命令系統が乱れないようには十分注意してください。

それからもう一つは、芦屋市内に現在もおられる、当時の小学校、中学校の先生方にどういうふうにして周知するか、積極的に協力して参加してもらえるように、サポートしたらどうでしょうか。

スポーツ・青少年課長) はい。

委員長) 今言われた中で、指揮命令系統というのは、大事なことです。突発的なことが起こったときにどうするかということを想定していないといけません。こういう大きな集団が集まって、いろんなプログラムが展開されるときには、きちっとしておかなければならない大事なことです。

社会教育部長) 丸投げではいけないと、スポーツ・青少年課長には言っております。市の職員もかかわって調整しながら、混乱が起こると予想されることについてはチェックしながら進めます。

委員長) 課題に対して対応できる体制、運営に当たる方と、それをきちっと指示できる人との関係が必要です。ですから新成人の企画者と、皆さんとで会議を何回もされてきたのですか。

スポーツ・青少年課長) はい。会場の下見から、お会いして何回か打ち合わせをしております。

委員長) 初めての試みですから皆さんが心配をされていますので、危機管理といえますか、その辺を考慮して事故のないようにお願いします。

白川委員) 企画運営委員会でこのチラシもデザインしたのですか。

スポーツ・青少年課長) もちろんデザイン会社が提案している部分もありますが、運営委員の中でも企画しております。もう一つは、芦屋市成人式の矢印ですね、これは意図的にこういうデザインにしております、意味は、一人前になる式で

あることを自覚してもらうために少しでも新成人の目を引くようにデザインしております。

植田委員) おもしろいし、いいのではないですか。

白川委員) そういう意味を込めているのでしたら、そのままでも良いと思いますが、少し奇抜なので、あれ、何だろうなどは思っていました。

スポーツ・青少年課長) 式典の中で、説明させていただくことになると思います。

植田委員) いいじゃないですかね。

教育長) 1回やってみる価値はありますね、ご本人たちもそれだけの時間をかけてやってくれておりますので。

社会教育部長) そうですね、リスクをある程度とらないと、やはりいいものは出来ませんからね。

白川委員) 4人とも大学2年生でしたでしょうか。

スポーツ・青少年課長) そうですね。考え方そのものはほんとにしっかりしておりますし、いろいろなことを考えてくれています。

教育長) 式典では、この4名だけを紹介する予定ですか。

スポーツ・青少年課長) それと市議会議員さんを予定しています。

教育長) 一人一人ですか。

スポーツ・青少年課長) そのように考えています。

教育長) いろいろな意見はありますが、セレモニーですので、その辺は必要ではないかと思います。

植田委員) 成人になった人に対してこれだけの人たちが参加して、あなた方のために集まっているのですよというメッセージは送っていて私はいいと思います。

委員長) 企画委員の方を紹介するところはあるのですか。

教育長) それはしたほうがいいですね。

スポーツ・青少年課長) 予定しています。

教育長) この会を成功させる、させないというのは、君たちの代表がつくったものであるから、みんなで成功に協力しようという思いを最初に参加者に伝えることが、非常にいい結果につながると思います。

委員長) 市の広報はされましたか。

スポーツ・青少年課長) 市の広報は1月1日号になります。

委員長) そのときに、こういう企画委員の名前とかは出てないのですか。

社会教育部長) 出しておりません。

教育長) このはがきの中に、もし可能だったら入れてほしいですが、既に印刷しているのですか。

スポーツ・青少年課長) まだ変えられますが、新成人による芦屋市成人式企画チームというふうに記載しております。

教育長) 4人の企画者の出身中学校はどうなっていますか。

スポーツ・青少年課長) 1人が山手中学校、もう1人の方が精道中学校、あとは私学です。

社会教育部長) 今回のように、企画者の応募が毎年あればいいのですが。

植田委員) 来年度やりたいという人は、今年は来年の参考として参加してくれる人がいるわけですか。そうすると次年度に向かっていい設定になるのですが。

教育長) 他市では、酒飲んで騒いだとかいうのが出る中で、芦屋では、成人代表

が自分たちで企画したんだというようなことで、芦屋というのは、文化
度が高い若者もいるということを知りたいと思います。

白川委員) 来年度につながるような何か策を考えたらいいと思います。第1回目が
この人たちで、この人たちが第2回目を募るとか。

スポーツ・青少年課長) 次回にぜひともつなげていきたいという思いは、企画されている4名か
らあります。

白川委員) 1回きりで終わるといのはもったいないですからね。

宇佐見委員) 大体皆さんがお話をされましたので、繰り返しになるかもしれませんが、
せっかくすばらしいことをするので、何かの形で自分たちが企画してやっ
ているということが、成人式の皆さんに伝わり、皆で協力してやっていこ
うという、そういう雰囲気の中で成人式が執り行われたらよりいいなと思
いますのと、次の方たちのために、何かの機会で伝える方法があるのであ
れば、次の方へのメッセージとして、この今回の4人の方たちはすごく志
があって去年見に来られたんですという紹介があれば、次の方につながっ
ていけないのではないかと思います。あともう一つは、再会の時間として、
最初の1時間半をとられたのですが、参加される方々が気分的に高揚する
ことが考えられますが、式典前後に分けるとかという意見はなかったでし
ょうか、例えば、1時間半を、30分と1時間とか。45分、45分
とかですね。参加されている方々も式典が終わりその開放感でまたちょっ
とおしゃべりをしたいなとかということもあると思うのですが、去年のことは
わかりませんが、例年は式典の後だったのでしょうか。

社会教育部長) 勝手にたまって、しゃべっていたという感じです。

宇佐見委員) そうなのですか。では正式に再会の場というのは設けていなかったとい
うことでしょうか。

スポーツ・青少年課長) 例年はそうです。式典が終わって、あとは自由にやっていたのですが、
主催者側としては、ホールから出ていただくのにかなりの時間も要します
ので、そういう意味でも最初の方がいいのではないということもありま
した。

宇佐見委員) わかりました。しかし、ほんとうにすばらしい企画だと思いますので、
また来年につなげていければいいなと思います。

委員長) それでは、このあたりで質疑を打ち切りたいと思います。

他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打ち切ります。

これより採決いたします。本案は、原案どおり承認することにご異議ご
ざいせんか。

<異議なしの声>

ご異議なしと認めます。よって本案は承認されました。

報告第8号採決。結果、承認(出席委員全員賛成)

委員長) 日程第5 閉会宣言